

「指導例」を有効に活用した単元構成のアイデア

1 学年・単元名

第4学年 「ごんぎつね」(光村図書)

2 単元目標

- ・場面と場面のつながりを意識し、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに読むことができる。〔C 読むこと〕指導事項ウ)
- ・物語を読んで感じたことや考えたことを交流し、一人ひとりの感じ方・考え方の違いに気付くことができる。〔C 読むこと〕指導事項オ)
- ・紹介したい本を選んで読み、作品のよさや特徴に気付くことができる。〔C 読むこと〕指導事項カ)

3 指導にあたって

児童は、これまでの物語文を用いた学習において、会話や行動、題名やキーワードから人物の人柄や心情を想像しながら読んできた。しかし、読書経験や生活経験の少なさ等により、言葉の表している内容を深くとらえられず、間違った解釈をしていることがしばしばある。また、物語の設定に関わる情報の取り出しが不確かで、場面や人物の置かれている状況を的確にとらえられない児童もいる。そのため、一つの言葉(表現)と作品全体との結び付きや、場面と場面との関連性等に目を向けるには至らず、物語の主題に迫ることが難しいのが現状である。

そこで、本単元では、物語の基本構造を理解し、叙述をもとに場面や人物の状況や気持ちの変化を想像豊かに読み味わわせたい。児童は、「ごん」や「兵十」に寄り添いながら、それぞれが違った思いや考えを抱くであろう。その思いや考えを形成するに至った根拠となる叙述を挙げて話し合う活動を設定する。自分が判断の根拠としたことを他者と比べることを通して、自分の思いや考えを確かにしたり、修正したりするとともに、作品に対するより深い理解を図りたい。また、「ごんぎつね」を他の作品と絡めて読んだり、作品の作者の思いを考えたりすることを通して、作品を自分なりに評価して読んだり、作者の思いを感じ取ったりできるようにもしたい。これらのことから、自分で物語を読み進めていける力を高め、読書量が増すことにつながればと考えている。

4 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・叙述に注目して読み、感じたことや考えたことを進んで話し合おうとしている。	・会話や心情表現、行動から人物の性格や気持ちを読み取っている。 ・情景を表す文や語句に着目して読んでいる。 ・人物の行動や性格、人物と出来事との関わりについて読み取って感想をまとめ、自分の考えを友達に伝えたり、自分の考えと関わらせながら友達の考えを聞いたりしている。 ・他の本と比べたり重ねたりして考えたことをまとめ、交流している。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。

5 関連させる「指導例」

「てぶくろを買いに」（作成：滋賀県学校改善アクションプラン推進協議会授業改善部会 国語部会）

6 「指導例」の位置付け

物語の学習では、時、場所等がどのように設定されているかを的確に読み取らせたい。また、物語の特徴をとらえる、他の物語と比較する、物語(作品)を評価する等、物語を読むときの視点を理解させたい。そこで、単元の導入に当たり、同じ作者の他の作品である「手ぶくろを買いに」の一部を読んで、これらのことを考える学習を取り入れ、その方法や考え方を理解させたい。

7 指導計画

次	時	本時の目標	学習活動（○印：評価規準 【 】：評価方法）	指導事項との関連
1	1 (本時)	物語の骨子をとらえ、「物語の設定」や登場人物の状況を読み取り、作品のよさや特徴を見付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「手ぶくろを買いに」の一部(設定部分)を読み、「登場人物」「季節」「天気」「場所」をとらえる。 ・「登場人物の状況」を、叙述を手がかりに正確に読み取る。 ・「作品交流会」の会話から間違った解釈をしていると思う部分を探し、自分の考えを理由とともにまとめる。 ・「作品交流会」に参加するとしたら、この作品のよさや特徴についてどのように発言するか考え、交流する。 ○本文の叙述をもとに自分の考えをまとめようとしている。【ワークシートの記述、交流の様子】	[C 読むこと]ウ [C 読むこと]エ
2	1	「物語を読んで、考えたことを話し合う」という学習に意欲をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「作品交流会」を開いて物語について考えたことを話し合ったり紹介し合ったりする学習をすることを理解し、目標をもつ。 ・新美南吉について話を聞く。 ・作品と出会う。 ・初読の感想を交流する。 ○気になる表現や文について自分の思いをまとめ、書こうとしている。【発言の様子、ワークシートの記述】	[C 読むこと]オ
	2	物語の中に出てくる語句について調べ、言葉の意味を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない語句の意味を調べたり、本文中での意味をとらえたりする。 ○適切な方法で語句を調べ、言葉の意味を理解している。【調べ学習の様子、ワークシートの記述】	[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]イ(カ)
	3	場面の設定や物語の展開をとらえることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の関係を短い言葉や図などでまとめる。 ・あらすじを短い言葉や図などでまとめる。 ○登場人物やあらすじを短い言葉や図などでまとめようとしている。【ワークシートの記述・図】	[C 読むこと]ウ [C 読むこと]エ
3	1	読み深めていきたい学習課題を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の関係や場面構成等、物語を読んで疑問を抱いたこと等を中心に、読み深めていきたいことを挙げる。 ・読み深めていきたいことを精選し、学習課題とする。 	[C 読むこと]ウ [C 読むこと]エ

3			<p>○読み深めていきたいことを考えながら読もうとしている。【発言の様子】</p>	
	2	<p>〈学習課題例1-①〉 「ごん」と「兵十」の関係について自分の考えをもち友達と交流することができる。</p>	<p>・「ごん」と「兵十」の関係について読み取り、自分の考えをまとめて交流する。</p> <p>○「ごん」と「兵十」の関係を読み取っている。【ワークシートの記述】</p> <p>○友達の考えを聞きながら自分の思いや考えを確かにしようとしている。【交流の様子】</p>	<p>〔C 読むこと〕ウ 〔C 読むこと〕オ</p>
	3	<p>〈学習課題例1-②〉 「ごん」と「兵十」の距離感や、「ごん」の「兵十」に対する思いについて自分の考えをもち、友達と交流することができる。</p>	<p>・「ごん」の「兵十」に対する視線に着目して読み、学習課題について自分の考えをまとめて交流する。</p> <p>○「ごん」の「兵十」に対する視線に着目して読んでいる。【ワークシートの記述】</p> <p>○友達の考えを聞きながら自分の思いや考えを確かにしようとしている。【交流の様子】</p>	<p>〔C 読むこと〕ウ 〔C 読むこと〕オ</p>
	4	<p>〈学習課題例2〉 「ごん」と「兵十」の境遇や、「ごん」の「兵十」に対する思いについて自分の考えをもち、友達と交流することができる。</p>	<p>・「ごん」や「兵十」の心情を表す言葉や行動の表現に着目して読み、学習課題について自分の考えをまとめて交流する。</p> <p>○「ごん」や「兵十」の心情を表す言葉や行動の表現に着目して読んでいる。【ワークシートの記述】</p> <p>○友達の考えを聞きながら自分の思いや考えを確かにしようとしている。【交流の様子】</p>	<p>〔C 読むこと〕ウ 〔C 読むこと〕オ</p>
	5	<p>〈学習課題例3〉 「ごん」の思いと「兵十」の認識の違いについて自分の考えをもち、友達と交流することができる。</p>	<p>・情景を豊かに想像して、「ごん」の思いと「兵十」の認識の違いを読み取り、学習課題について自分の考えをまとめて交流する。</p> <p>○「ごん」の思いと「兵十」の認識の違いを読み取っている。【ワークシートの記述】</p> <p>○友達の考えを聞きながら自分の思いや考えを確かにしようとしている。【交流の様子】</p>	<p>〔C 読むこと〕ウ 〔C 読むこと〕オ</p>
	6	<p>〈学習課題例4〉 語り手の視点の転換について自分の考えをもち、友達と交流することができる。</p>	<p>・クライマックス部分を、情景を豊かに想像して読み、学習課題について自分の考えをまとめて交流する。</p> <p>○語り手の視点の転換に気付いて読んでいる。【ワークシートの記述】</p> <p>○友達の考えを聞きながら自分の思いや考えを確かにし、物語全体を通しての自分の思いや考えをまとめようとしている。【ワークシートの記述、交流の様子】</p>	<p>〔C 読むこと〕ウ 〔C 読むこと〕オ</p>
	7	<p>自分の考えの根拠となる部分を詳細に読み、必要に応じて引用しながらまとめることができる。</p>	<p>・読み深めたことをもとに感想をもち、自分の考えの根拠となる部分を必要に応じて引用しながら書きまとめて初読の感想と比べる。</p> <p>・グループで感想を出し合い、話題を決定する。</p> <p>○感想の根拠になる部分を詳細に読み、必要に応じて引用しながら書きまとめることができる。【ワークシートの記述】</p>	<p>〔C 読むこと〕エ</p>

	8	「ごんぎつね」を読んで感じたことや考えたことを交流し、友達との感じ方の違いに気付くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感想をまとめる。 ・自分の考えと友達の考えの共通点や相違点に気を付けながら、グループで話し合う。 ・話し合いで深まった考えを報告し合う。 ○互いの考えの共通点や相違点に気付いている。【交流の様子】	[C 読むこと] オ
4	1	紹介したい作品の骨子をとらえ、「物語の設定」や登場人物の状況を読み取るとともに、「ごんぎつね」と比較しながら、作品のよさや特徴を見付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が紹介したい作品の「物語の設定」を整理する。 ・登場人物の状況を、簡単にまとめる。 ・作品を「ごんぎつね」と比べて評価する。 ○作品やそのよさや特徴を自分なりにまとめることができる。【ワークシートの記述】	[C 読むこと] ウ [C 読むこと] エ [C 読むこと] カ
	2	作品のよさや特徴について自分の考えをまとめ、「作品交流会」で紹介し合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「作品交流会」を行い、作品のよさや特徴を紹介し合う。 ・学習全体を通じた感想をまとめる。 ○自分が紹介したい作品のよさや特徴を効果的に伝えようとしている。【交流の様子】	[C 読むこと] オ